

各 位

平成26年7月9日

会 社 名 株式会社ブイ・テクノロジー
代 表 者 代表取締役社長 杉本 重人
(コード番号：7717 東証1部)
問 合 せ 先 企画部 IR グループ長 吉村省吾
(TEL：045-338-1980)

「新しいタッチセンサ製造技術」およびタッチセンサ「V-Touch」の共同開発に関するお知らせ

株式会社ブイ・テクノロジー（以下、当社）は、「新しいタッチセンサ製造技術」（以下、本技術）を用いて製造されるタッチセンサ「V-Touch(ブイタッチ)」の開発を Innolux Corporation（以下、Innolux 社）、アルバック株式会社（以下、アルバック社）と共同で行い試作に成功いたしましたので下記の通りご報告いたします。

記

1. 製品の概要

(1) 製品「V-Touch」および本技術の概要と背景

【概要と背景】

ローエンド～ミドルエンドモデルのスマホやタブレットの市場が急速に拡大し、安価で付加価値の高いスマホ・タブレット用タッチセンサの需要が高まっています。

Innolux 社、アルバック社、そして当社は、このような需要に応える「本技術」の発表を 2014 年 4 月 16 日より開催されたフラットパネルディスプレイ展（東京ビッグサイト）にて行いこの 3 社で本技術の開発を継続してまいりました。「V-Touch」は、タッチセンサを液晶ディスプレイに外付けした従来方式のタッチセンサと比較して優れたコストパフォーマンスと性能を実現しております。

【特長】

- ・タッチセンサ製造にかかる時間やコストを大幅に削減

本技術は、液晶ディスプレイ上にフォトリソ技術を用いずに直接基板に高精細マスクを経由してスパッタリングでタッチセンサを形成します*1。従来方式で必要とされる露光、エッチング、等の工程が不要で工程数が大幅に削減され、タッチセンサ生産にかかる時間やコストを大幅に削減可能です。

- ・従来方式と比較して大幅な薄型化を実現*2

従来方式では、ガラスやフィルムで作られたタッチセンサがディスプレイに外付けされタッチパネルディスプレイが完成します。本技術は、数十～数百 nm（ナノメートル）厚でタッチセンサをディスプレイ上に直接スパッタリングで形成します。この為、タッチパネルディスプレイの厚み≒ディスプレイの厚みとなり、低コストながらも薄く透過率の高いタッチパネルディスプレイを実現します。

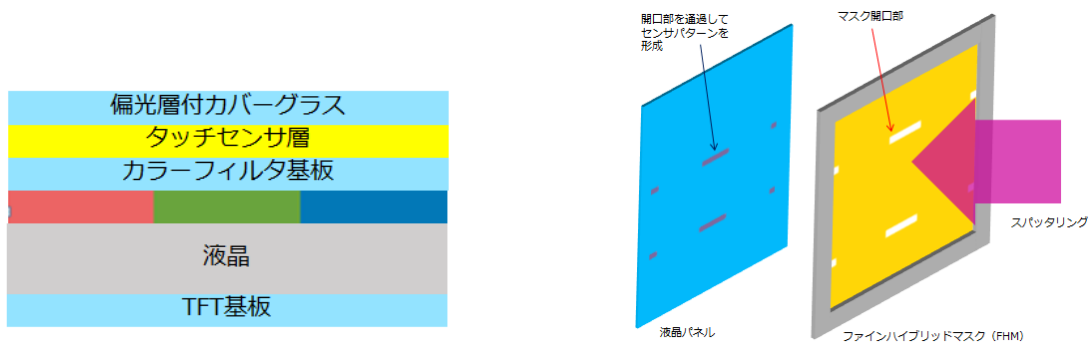
2. 今後の見通し

今後、「V-Touch」製造請負会社設立に向けディスプレイメーカー及び関係の皆様と協議を進め、平成 27 年 3 月期の製品化および営業開始を目指します。また、当社従来の装置ビジネスは、設備投資動向で収益が大きく変動します。当社技術を生かすことができる、比較的収益の変動の少ない請負ビジネスが新たに加わり当社のビジネスは両輪体制となり安定成長が見込まれます。製品化および営業開始に関する詳細の日程などについては確定次第ご報告いたします。

アルバック株式会社 (6728.T) の概要：半導体・ディスプレイなどのエレクトロニクス分野の薄膜形成プロセス装置（真空蒸着・スパッタリング・CVD）を始め、様々な産業向けの真空装置や真空ポンプ・真空計などのコンポーネントを開発・製造・販売しています。

Innolux Corporation(3481.TW)の概要：TFT 液晶ディスプレイ (TFT-LCD)、 パネルモジュールや LCD モニターを製造しています。中小型液晶出荷台数で世界シェア第 2 位(2013 年)。

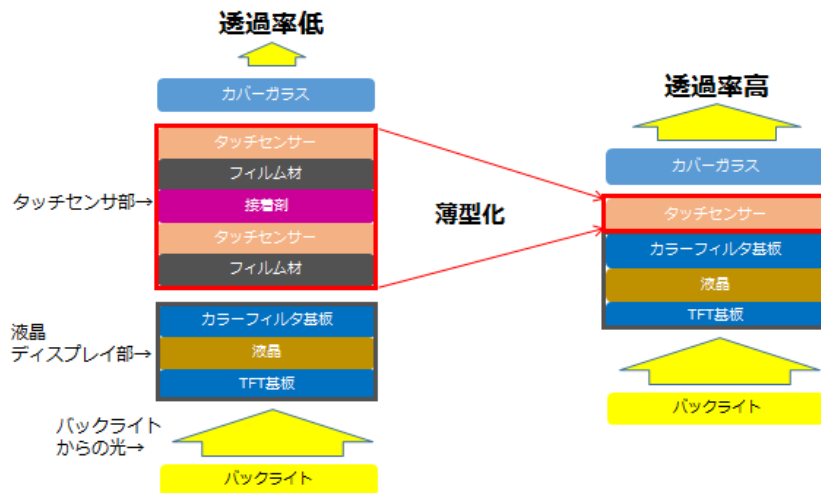
*1 図 「V-Touch」の構造例 (左) とフォトリソ工程を用いないセンサパターン形成 (右)



(右) のファインハイブリッドマスク (FHM) とは、高精細でパターン位置精度 $\pm 1.5 \mu\text{m}$ を実現したハイブリッドメタルマスク。

*2 図 センサ性能比較 従来方式 (左) VS 「V-Touch」 (右)

メリット：従来方式より薄く、バックライトの透過率が高い (=省電力性が高い)。



以上